保育者養成校における公開講座（音楽）を通じた高大連携、地域連携の可能性

佐藤　雄紀

キーワード：保育者養成、高大連携、地域連携、公開講座、入学前教育、音楽、ピアノ

幼児教育の中で音楽は大きな位置を占めている。朝の会での歌に始まり、おべんとうの歌、季節の歌、おかえりの歌、お誕生日会、クリスマス会、音楽発表会など、音楽は子ども達の豊かな園生活に欠かすことはできない。しかし、現在保育者養成校に入学してくるピアノ初心者の割合は 9 割に及び、以前にも増して養成校に課せられた使命は大きくなっている。本学では、短大卒業時の音楽の力を高めるため、また高大連携の取り組みの一環として、毎月中高生向けに無料のピアノ講座を開講した。短大の音楽の授業を先取りした、レベル別の教材（バスティン・ピアノメソード）を用いた弾き歌いのレッスン、譜読みテスト、ピアノ演奏にとって大切な基本指導などを通じて、中高生の力を伸ばすことに成功した。また、中高生だけでなく、現場の保育者の先生方にも毎月講座を開講し、季節の曲やリトミックなどを指導した。保育現場に出てからも定期的に学べる機会があることは重要であるの項目でそう思う 88.9%、ややそう思う 11.1% と回答するなど、先生方も働きながら学び続け、着実に力をつけることの重要性を感じていた。現代の保育者養成校における公開講座（音楽）を通じた高大連携、地域連携の可能性を実践とアンケート調査を基に探った。

Ⅰ　はじめに

1　現代の保育者養成校における音楽・ピアノの高大連携の可能性

現在、保育者養成校に入学してくる学生は非常に音楽経験が少ない。本学でピアノの経験についてアンケート調査(2017)を実施したところ、10年7%、5年5%、3年5%、初心者83%という結果であった。ピアノの経験年数3年は、かなり初心者に近いということを考えると、9割弱はピアノ初心者ということになる[1)]。他の養成校でも同様の傾向が見られ[2)]、この傾向は今後も続いていくと思われる。それでも(多くの養成校は)2年という短期間の指導で、保育現場で通用するピアノの水準にまで学生を引き上げていかねばならず、養成校に課せられた使命は年々大きくなっている。筆者は、現在の養成校の音楽・ピアノをもっと良い方向に発展させていくためには、以下の3点の再考が必要であると考え、これまで試行錯誤しながら取り組んできた。

1) 音楽・ピアノのカリキュラム、教材を再考する必要性

2) 音楽・ピアノの授業形態を再考する必要性

3) 音楽・ピアノの入学前教育を再考する必要性

1) は、筆者の論文(2017)「保育者養成校における入学前準備授業とバスティン・ピアノメソードを用いたピアノのレベル別学習に関する一考察」を、2) は、筆者の論文(2018)「保育者養成校におけるアクティブ・ラーニングを用いたピアノレッスン及び幼児に対する音楽表現指導法に関する一考察」を、3) は、筆者の論文(2018)「保育者養成校における入学前教育(音楽)の可能性」を参照されたい。そして、この3つに加えることができる項目として、下記の4) が挙げられる。

4) 音楽・ピアノの高大連携を再考する必要性

ピアノ初心者の割合が増加の一途をたどっている保育者養成校にとって、高大連携の重要性はもはや語るまでもないだろう。文部科学省も「高校生が大学

レベルの教育研究に触れることのできる各種取組については、今後、適切な形で、高校生一人一人の能力・適性に応じつつ、拡大を図っていくことが必要である[3)]。」とその重要性を述べている。多くの中高生は保育者を目指すにあたって、ピアノが必要だということを認識しているが、個人的にピアノ教室に通うハードルが高い生徒も多い。このような現状を見ていて、地域に根ざした養成校として保育者を目指す生徒達のために何かできないかとずっと考えていた。そこで、2017 年 7 月から中高生向けの無料ピアノ講座、「保育者を目指したい中学生のためのピアノ学習」「幼児教育系進学を目指す高校生のためのピアノ教室」を毎月開講した。開講時間は、平日の放課後 17 時 40 分から 20 時までで、生徒達も着実に力をつけることができた。残念ながら cinii には保育者養成校における音楽の高大連携に関する論文は見つからなかったが、大阪千代田短期大学[4)]、中京学院大学[5)]、奈良佐保短期大学[6)]などで、本学と同じように保育者を目指す高校生に対し、無料でピアノを教えるという取り組みが行われていた。本学の講座の特色としては、1 年を通じて毎月定期的に開講している点、中学生も対象にしている点（保育所での職場体験を終えた生徒の学びの継続）、アクティブ・ラーニング型の授業で学んだ学生が指導補助として参加している点、本学希望者だけでなく全ての保育者養成校志望の生徒に門戸が開かれている点などが挙げられる。中高生の講座とアンケート調査の詳細は、後の章で述べていく。

2　現代の保育者養成校における音楽・ピアノの地域連携の可能性

これまで様々な養成校や保育者に音楽を指導してきて、現場の先生方も定期的に学ぶ機会が持てると保育現場はより豊かなものになるのではないかとずっと考えていた。先生方に講座終了後に取ったアンケートでも、保育現場に出てからも定期的に学べる機会があることは重要であるの項目で、そう思う 88.9%、ややそう思う 11.1% という非常に高い値が出た。音楽に関して言えば、教員免許状更新講習や地域の講座などの一回や二回の受講でなく、定期的に学

べるということが極めて大切なことである。現場の先生方の（音楽に関する）疑問点の解決、表現力の探求、技術の向上などは、定期的な学びなくして効果は望めない。また養成校にとっても、現場の先生方がどのような教材を使用しているのか、どのような人材育成が求められているのかということを教えて頂くこともでき、学生の教育に生かしていくことができる。この現役保育者との講座、アンケート調査の詳細は後の章で述べていく。本研究では、公開講座（音楽）を通じた高大連携、地域連携の可能性を実践とアンケート調査を基に考察する。

Ⅱ　中高生向けピアノ公開講座の実際

1　講座の概要

・開講日程（全 9 回）

7/19、8/30、9/27、10/18、11/22、12/13、1/17、2/27、3/24

・開講日時

中学生対象 17:40 ～ 18:30

高校生対象 17:40 ～ 20:00

・教材

バスティン・ピアノメソード レベル 1、レベル 2、レベル 3

譜読み課題、ピアノ演奏の極意

・設備

本学音楽室 グランドピアノ 1 台、電子ピアノ 30 台

・受講者

7 月 3 名、8 月 11 名、9 月 12 名、10 月 11 名、11 月 12 名、12 月 11 名、1 月 8 名、2 月 7 名、3 月 5 名で、実人数は 27 名。平均参加人数は 9 名程度。

・指導スタッフ

本学教員 2 名

アクティブ・ラーニング型の授業で学んだ本学の学生スタッフ 3 名

2　本学の講座の特徴

2017 年度は 7 月から全 9 回開講した。定期試験や部活動などもあるため、どの日程から参加しても良いこととした。また、開講したものの中学生の受講者はほとんどいなかったため、高校生も 17 時 40 分から開講とした。本学の講座の特徴を述べていきたい。

1)　1 年を通じて毎月定期的に無料で開講している点
2)　全ての保育者養成校志望の生徒に門戸が開かれている点
3)　バスティン・ピアノメソードを使用している点
4)　譜読みテストを実施している点
5)　独自のピアノ学習資料 (ピアノ演奏の極意) を配布している点
6)　アクティブ・ラーニング型の授業で学んだ学生スタッフを指導補助として配置している点
7)　最後に学修成果を発表する点

まず 1) について。はじめにでも述べたように、多くの中高生は保育者を目指すにあたって、ピアノが必要だということを認識しているが、個人的にピアノ教室に通うハードルが高い生徒も多い。ピアノ講座を無料で定期的に開講することにより、学びたい意欲のある生徒の力を着実に伸ばすことができる。2) について。本学への入学希望者だけでなく、保育者を目指す生徒全てに門戸を広げたことは、県全体での幼児教育のレベルアップ、地域に根ざした養成校の果たすべき役割という観点から見ても非常に重要なことである。ピアノ講座で学んで本学に入学した生徒、他の養成校に進学した生徒、他の養成校に進学が決まってから講座を受講しに来た生徒など、進んだ道は様々だが、講座を通じて生徒達は音楽の力を高め、音楽を通じて濃密な高大連携、地域連携ができたことは大変意義深いことである。3) について。バスティン・ピアノメソードを採用した理由を以下に引用する。詳しくは筆者の論文 (2017)「保育者養成校における入学前準備授業とバスティン・ピアノメソードを用いたピアノのレベ

ル別学習に関する一考察」を参照されたい。「このメソードでまず素晴らしいと思ったのは、全ての曲に標題がついており、豊富な挿絵を伴っていて、ピアノを学び始める初期段階から学生の想像力をかきたててくれると思ったところである。また、多くの楽曲に歌詞が付いていて、弾き歌いへのスムーズな移行が期待できることに加え、テキストに載っている歌詞付きの曲も実際に園で歌えそうなものが多く、ピアノの学習に付随して、音楽の基礎知識が身に付けられるという構成も魅力的であった。また、ピアノ経験が異なる学生一人ひとりに合わせて、使用するテキストのスタートを柔軟に変えられそうなところ、多くの曲の合格をもらいながら学習を進められることにより、初心者に自己効力感を持たせてあげることが期待できるところなどを総合的に判断し、バスティン・ピアノメソードを教材として採用した。」このような魅力的な教材で、高校生の時からピアノを学び始めれば、必ずや卒業時に保育士として求められる必要な音楽の力を身に付けることができる。短大の授業で実際に使用している教材という点でも意義深い。4）について。譜読みテストを導入した経緯を引用する。詳しくは、筆者の論文(2018)「保育者養成校における入学前教育(音楽)の可能性」を参照されたい。「入学前教育を行う以前は、音符の名前や長さ、ドレミの位置など高校生までに最低限身に付けておいて欲しかった最も基礎的な音楽の知識を入学後に指導しなければならなかった。だが、学生に両面印刷の基本的事項を覚えてくるように指導し、譜読みテストをできるまで何度も繰り返し行うことにより、初回の授業ではほとんどの学生が、基本的な事項を理解できていた。(中略)譜読みテストを通じて音楽の基本的なことを理解することができたの項目で、YES 86%、譜読みテストを合格まで繰り返し受験することで、基本的なことを入学前に身に付けることができた(再試該当者のみ回答)の項目で、YES 88%と高い数字が出た。楽典を入学前にしっかり理解させたいのであれば、何度でもできるまで解かせることが非常に重要である。」このように譜読みテストを繰り返し解かせ、しっかり学ばせれば、音楽の基本的な事項を入学前に身に付けさせることは可能である。合格できなかった生徒

には、アクティブ・ラーニング型の授業で学んだ学生に個別に解説させた。5）について。独自のピアノ学習資料（ピアノ演奏の極意）を作成したのは、（一か月に一回というペースで講座に通ってくるため）家での学びをより充実させてあげたいという思いからである。実際に講座の中でもフォーム、練習の仕方、表現の仕方など一つ一つしっかりと体験させ、家での学びに繋がっていくよう意識して指導した。教材は後に紹介する。6）について。アクティブ・ラーニング型の授業で学んだ学生スタッフを配置したのには多くの理由がある。保育者養成校のピアノは決して１人で学ぶものではなく、友人同士で助け合いながら、皆で上達するということを体感してもらうため。そして、通ってきた生徒が暇を持て余すことなくピアノに取り組むことができ、わからないことがあれば、気軽に質問できる雰囲気が非常に重要であると考えたため。また、学生スタッフにとっても、自分が得た力を人に伝えることで大きな学び[7]になると考えたためである。保育者を目指す先輩に指導してもらうことの意義は殊の外大きい。7）について。最後に学修成果を発表する時間を設けたのは、人前で発表する度胸を早い段階から身に付けてもらいたい、保育者を目指す仲間の演奏を聴いて刺激を受けてもらいたいという思いからである。生徒達は緊張しながらもお互いの演奏をよく聴き、認め合い、拍手を送りあっていた。個人レッスンのみのピアノ講座では決して実現できないことである。

3　指導の実際

ピアノ講座の指導の実際を詳しく述べていく。

1）　幼児教育を目指す中高生のためのピアノ講座 進度調査・レッスン記録（図1）を記入してもらう。

2）　これまでのピアノの経験などを話した上で、バスティンの教科書の選択を行う。初年度は 27 名が受講し、レベル１の選択者が 23 名、レベル２の選択者が４名であった。

3）　譜読み課題（図 2、図 3）を配る。わからないところは高校の音楽の先生に

質問し、しっかり学んでくるよう指示する。次回参加時に譜読みテスト(図 4)を受ける。20 点中 15 点以上を取れるまで何度でも解かせた。合格できなかった生徒には、アクティブ・ラーニング型の授業で学んだ学生に個別に解説させた。

4) ピアノ演奏の極意(図 5)を配布し、フォーム、練習の仕方、表現の仕方など一つ一つしっかりと体験させた。基本の重要性、継続して練習することの大切さを理解させ、次回の講座に繋がっていくよう意識して指導した。

5) バスティンの指導をする。実際には電子ピアノで指導することが多かった。短時間で練習の仕方、フォーム、表現などの重要なポイントを指示し、何度も何度も回って上達しているか確認した。学生スタッフにも積極的に見て回ってもらい、指導してもらった。スタッフもわからない時には一緒に確認し、解決した。

6) 最後に学修成果の発表として、自分が印象に残った曲を演奏してもらった。

7) 幼児教育を目指す中学生・高校生対象 無料ピアノ講座進度カード(図 6)に学んだ曲を記入してもらい、こちらも幼児教育を目指す中高生のためのピアノ講座 進度調査・レッスン記録(図 1)に控えを取った。

1) について。初めてピアノ講座に参加した生徒には必ず幼児教育を目指す中高生のためのピアノ講座 進度調査・レッスン記録(図 1)を記入してもらった。これまでの音楽経験や、現在の生徒の状態を把握するために非常に重要な資料となる。毎回講座で合格した曲を記入していくので、生徒の成長の記録として振り返ることもできる。2) について。図 1 のデータと生徒との対話によって、バスティンのレベルを決定した。ピアノ講座を受講した生徒は 27 名で、全くピアノをやったことのない生徒が 17 名、3 年程度が 4 名、5 年程度が 3 名、10 年程度が 3 名であった。本講座では、バスティンレベル 1 を選択した生徒が 23 名(85%)、レベル 2 を選択した生徒が 4 名(15%)であった。ピアノ経験の長い生徒も、弾き歌いをするのは初めてで、せっかく講座に通っているので

基礎からしっかりと学びたいという要望も多かったため、このような結果になった。3）について。本学の講座の特徴の 4）で述べたので省略する。詳しくはそちらを参照されたい。4）について。本学の講座の特徴 5）でも少し述べたが、独自のピアノ学習資料 (ピアノ演奏の極意) を作成したのは、(一か月に一回というペースで講座に通ってくるため) 家での学びをより充実させてあげたいという思いからである。初心者の生徒はもちろんのこと、経験者の生徒でもフォームや練習方法が自己流になっていることが多い。そのため、ピアノ講座に初めて参加する生徒には必ず 30 分程かけて実際に体験させながら丁寧に説明した。5）について。バスティンについては、本学の講座の特徴 3)、学生スタッフの配置については、本学の講座の特徴 6）で述べたので省略する。詳しくはそちらを参照されたい。6）について。本学の講座の特徴の 7）で述べたので省略する。詳しくはそちらを参照されたい。7）について。生徒の学びの記録を正確に残していくということは重要なことである。生徒の成長、これからの講座運営に生かしていきたい。

図１　幼児教育を目指す中高生のためのピアノ講座 進度調査・レッスン記録

幼児教育を目指す中学生・高校生のためのピアノ講座　進度調査・レッスン記録

中学校・高校名　　氏名　　（ふりがなも記入して下さい）

ピアノ講座を受講される皆さんへ

ピアノ進度状況（経験）調査

1. 自宅に鍵盤楽器はありますか。
   【 ピアノ ・ エレクトーン ・ キーボード ・ ない 】

2. ピアノのレッスンに通った経験はありますか。（中学・高校の音楽の先生の指導は除く）【 ある・ ない 】
   ある人は、その期間を教えてください。
   【 いつ（　　）～ いつ（　　）まで。計　年 】

3. 下記のピアノ練習曲集の中で、弾ける教本の番号を書いてください。
   ・バイエル【　　】番程度　　・ブルグミュラー【　　】番程度
   ・ソナチネアルバム【　　】番程度　　・ソナタアルバム【　　】番程度

4. 最近弾いた一番難しい曲を書いて下さい。また、ピアノ講座への抱負を述べて下さい。

バスティン（レベル１・レベル２・レベル３・レベル４）

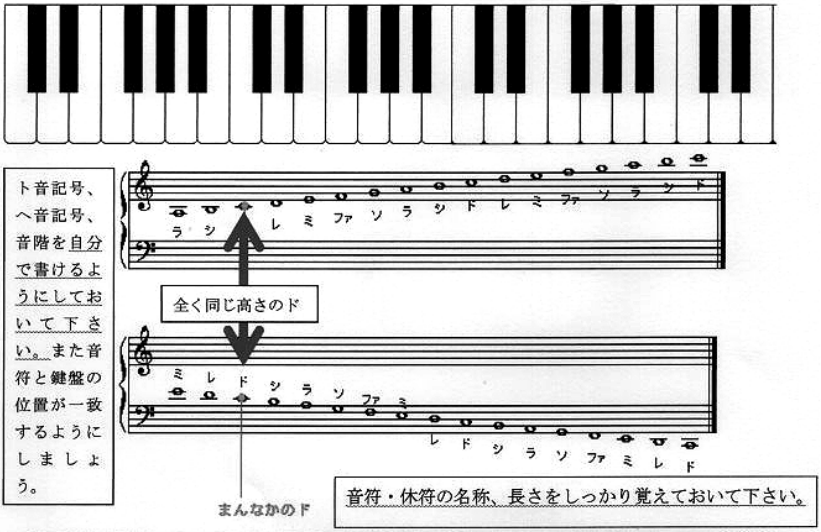
日付	最新合格曲(最新合格曲のみ書く)	不合格曲
7/19		
8/30		
9/27		
10/18		
11/22		
12/13		
1/17		
2/27		
3/7		

楽典小テスト合格	
バスティン一冊修了	

図２　譜読みテスト事前資料　表[1)]

譜読み課題※全レベル共通課題です。しっかり学習してテストに臨みましょう。

合格点を取れるまで試験を行います。裏面もあります。



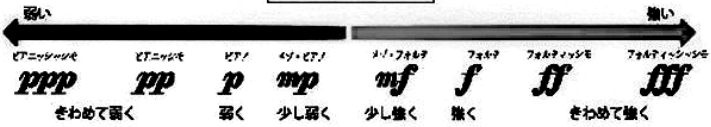
音符・名称		4分音符を1拍とした時の数え方	休符の長さ	休符・名称	
𝅝	全音符	𝅝 1 2 3 4	4	𝄻	全休符
𝅗𝅥	2分音符	𝅗𝅥 1 2 3 4	2	𝄼	2分休符
♩	4分音符	♩ 1 ♩ 2 ♩ 3 ♩ 4	1	𝄽	4分休符
♪	8分音符	♩♪ 1 と 2 と 3 と 4 と	$\frac{1}{2}$	𝄾	8分休符
♪	16分音符	♩♪♪♪ 1 と 2 と 3 と 4 と	$\frac{1}{4}$	𝄿	16分休符
𝅝.	付点全音符	𝅝. = 𝅝 + ♩	4＋2	𝄻.	付点全休符
𝅗𝅥.	付点2分音符	𝅗𝅥. = 𝅗𝅥 + ♩	2＋1	𝄼.	付点2分休符
♩.	付点4分音符	♩. = ♩ + ♪	$1+\frac{1}{2}$	𝄽.	付点4分休符
♪.	付点8分音符	♪. = ♪ + ♪	$\frac{1}{2}+\frac{1}{4}$	𝄾.	付点8分休符

図３　譜読みテスト事前資料　裏[1)]

臨時記号

記　号	読み方	意　　味
♯	シャープ	その音を半音上げる
♭	フラット	その音を半音下げる
♮	ナチュラル	もとの音に戻す

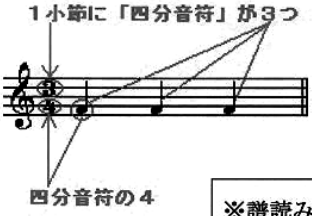
強弱記号



拍子記号 $\frac{4}{4}$

分子は一小節に何拍かを表す

分母は一拍が何分音符かを表す



臨時記号や、強弱記号、拍子の意味を理解し、説明できるようにしておきましょう。

※譜読みテストに向けて、しっかりと学習しておいて下さい。

図４　譜読みテスト　本番[1)]

入学前準備授業譜読みテスト　高校　　名前　　(ふりがな)

問１　中央のドから１オクターブ上のドまで書きなさい。
（一つ上のドまで、中央のドからドレミファソラシドを書く）ト音記号で書くこと。

問２　中央のドから１オクターブ下のドまで書きなさい。
（一つ下のドまで、中央のドからドシラソファミレドを書く）ヘ音記号で書くこと。

問３　①～⑨に当てはまる音符、名称、数字、休符を書きなさい（表に直接書き込んで下さい）

音符	音符の名称	４分音符を１とした時の長さ	同じ長さの休符
𝅗𝅥	①	4	②
③	２分音符	④	⑤
♩	４分音符	1	𝄽
♪	⑥	⑦	𝄾
⑧	１６分音符	0.25	⑨

問４　①、②、③に当てはまる付点音符を書きなさい。

①＝𝅗𝅥＋♩　②＝♩＋♪　③＝♪＋𝅘𝅥𝅯

①	②	③

問５　♯の意味、♮の意味を書きなさい

♯の意味	♮の意味

問６　①～③に当てはまる強弱記号を書きなさい。

弱　ppp　①　p　②　mf　③　ff　fff　強

①	②	③

問７　４分の４拍子とはどういう拍子ですか、説明しなさい。

得点

※各１点　20点満点
15点未満は再試

図５　ピアノ演奏の極意

ピアノ演奏の極意

1、フォームの極意

- 椅子には浅く座ろう（ももの付け根が椅子から出るようにしよう）
- 椅子の高さに気を付けよう（どちらかというと高めにして、体重が鍵盤に伝わるようにしよう）
- 手は水をすくう時の自然な丸みを意識しよう。手首が低くなりすぎないように気を付けよう。
- 重心は胃のあたりに感じて（決して猫背になってはいけない）
- 5の指はしっかり斜めに立てて弾き、手のポジションを安定させよう。
- 弾く時には指の最もお肉のついたところを使おう（鍵盤をつかむような意識で弾いてみよう）
- 理想のポジションはミ、#ファ、#ソ、#ラ、ド（ショパンのアドヴァイス）
- 身体全体（手首や肘、胃の意識、体重）をうまく使うことがとても大切。

2、練習の極意

難易度の低いところから練習しよう。つまり…

- 片手ずつ（両手より片手の方が難易度は低い、片手ずつを完璧にしよう）
- ゆっくりと（早く弾くより、まずゆっくりと確実に弾けるようにしよう）
- できないところを部分的に抜き出して（全体を通してばかりの練習は全く意味がない）
- 10回連続苦手な部分が演奏できるようになれば、人前でも自信を持って弾ける。
- 片手ずつの練習の時に右手と歌、左手と歌の練習を必ず入れよう。しっかり元気に歌えるよう声にも気を配ろう。
- 最初、音符にフリガナを振るのは良いが、少しずつ減らしていくよう努力しよう。
  最終的には音符をパッと見て音が分かるようにしよう。

3、応用編

- スタッカートの弾き方
  手首を柔らかく使って、ボールをドリブルするような気持ちで。鍵盤の底が熱いと思って…
  大切なのは最初鍵盤を触った状態から弾くこと。音を素早く掴み取ってくる意識で弾いてみよう。
- スラーの弾き方
  スラーはなめらかにという意味である。そのフレーズを一息で歌いきるという意識が必要である。
  音がつながっているだけでなく、音の強さのデコボコがないとてもきれいに演奏できる。
  メロディラインに従って音の強さが自在に変化できるように演奏しよう。手首で呼吸をイメージしてみよう。
- 和音の弾き方
  三つの音がしっかり掴っているか、鳴っていない音はないか、よく聴こう。鍵盤を握るような意識で弾いてみよう。
  自分にとって最適なポジションはどこか研究してみよう。5の形が崩れないように注意しよう。
- 指番号の決め方
  一概に説明するのは難しいが、フレーズの中にどれくらい上の音、下の音があるかで最初の音の指番号を決定しよう。
  左手は元々の和音を変化させたものが多いので、和音で同時に取ってみて決めていこう。
- 歌唱指導
  まわりで友人が歌っても堂々と弾けるくらいになろう。また、少し横を向きながら、
  歌っている友人の声を聴きながら演奏できるようになろう。声をかけながら、歌を教えられるようになろう。
- ペダルの踏み方
  必ず和音が変わった時にはペダルがない状態を作ろう。和音を弾いたあとに踏むのがポイント。
  指でもしっかり音をつないで弾こう。

これらがしっかりマスターできれば、あなたのピアノ演奏はどんどん良くなっていくでしょう♪

音楽担当　佐藤雄紀

図６　幼児教育を目指す中学生・高校生対象 無料ピアノ講座進度カード

幼児教育を目指す中学生・高校生対象
無料ピアノ講座　進度カード

中学・高校名　　名前　　（ふりがなも記入して下さい）コース（L1・L2・L3・L4）

☆ピアノの楽譜の裏面にしっかりと貼り付けましょう。
☆受講する曲目を自分で書き込みましょう。
☆コツコツと練習を重ね、豊南のレッスンに通い、着実に力をつけていきましょう♪

♪幼児教育を目指すピアノ講座　レッスンの記録

中学生 17:40～18:30

高校生 18:40～20:00（高校生も早めに来て学びましょう）

※レッスン時間の相談応じます♪

日付	受講曲目	教員サイン
7/19		
8/30		
9/27		
10/18		
11/22		
12/13		
1/17		
2/27		
3/7		

楽典小テスト合格	
パスティン１冊修了	

4　アンケート結果と考察

最後に、ピアノ講座の受講を終え、本学に入学した 15 名の学生にアンケート調査を行った。各質問項目に、1. そう思う、2. ややそう思う、3. あまりそう思わない、4. そう思わない の 4 択で回答してもらった。

対象：ピアノ講座受講後、本学に入学した学生 15 名

1)　ピアノ講座は幼児教育を目指す中高生にとって大切だと思う

1. そう思う 80%　　2. ややそう思う 20%

3. あまりそう思わない 0%　　4. そう思わない 0%

2)　ピアノ講座があったので、スムーズに音楽の授業に入っていくことができそうだ

1. そう思う 86.6%　　2. ややそう思う 13.4%

3. あまりそう思わない 0%　　4. そう思わない 0%

3)　ピアノ講座では、自分のレベル合った課題で学ぶことができて良かった

1. そう思う 80%　　2. ややそう思う 20%

3. あまりそう思わない 0%　　4. そう思わない 0%

4)　ピアノ講座では、実際に音楽の授業で使用されている教材（バスティン）で学ぶことができて良かった

1. そう思う 86.6%　　2. ややそう思う 6.7%

3. あまりそう思わない 6.7%　　4. そう思わない 0%

5)　ピアノ講座を通じて、ピアノに対する漠然とした不安は軽減した

1. そう思う 33.3%　　2. ややそう思う 60%

3. あまりそう思わない 6.7%　　4. そう思わない 0%

6)　次のピアノ講座に向けて、準備して臨むことができた

1. そう思う 53.3%　　2. ややそう思う 46.7%

3. あまりそう思わない 0%　　4. そう思わない 0%

7)　ピアノ講座を通じて保育の学びを深めることができた

1. そう思う 46.7%　　2. ややそう思う 46.7%

3. あまりそう思わない 6.6%　　4. そう思わない 0%

8) 譜読みテストを通じて音楽の基本的なことを理解することができた

1. そう思う 57.1%　　2. ややそう思う 42.9%

3. あまりそう思わない 0%　　4. そう思わない 0%

9) 譜読みテストを合格まで繰り返し受験することで、基本的なことを入学前に身に付けることができた（再試該当者のみ回答）

1. そう思う 80%　　2. ややそう思う 20%

3. あまりそう思わない 0%　　4. そう思わない 0%

10) ピアノ講座では同じ志を持つ仲間からの刺激を受けることができた

1. そう思う 60%　　2. ややそう思う 40%

3. あまりそう思わない 0%　　4. そう思わない 0%

11) アクティブ・ラーニング型の授業で学んだ学生スタッフが、優しく指導してくれ良かった

1. そう思う 80%　　2. ややそう思う 20%

3. あまりそう思わない 0%　　4. そう思わない 0%

12) ピアノの経験を近いものから選んで下さい

1. 10 年 13.3%　2. 5 年 20%　3. 3 年 13.3%　4. 初心者 53.4%

1）について。ピアノ講座は幼児教育を目指す中高生にとって大切だと思うの項目で、そう思う 80%、ややそう思う 20% という結果であった。幼児教育を目指す中高生に向けて無料で定期的に開講した講座で、このようなアンケート結果が出たことは大変意義深い。2）について。本講座は、本学入学希望者のためだけに開講したわけではないが、実際に短大の授業で使用している魅力的なバスティン・ピアノメソードを用いて、多くの生徒がスムーズに音楽の授業に入っていくことができそうだと回答したことは非常に価値がある。3）について。ピアノの経験・進度は生徒により様々である。筆者が大切にしているのは、どの段階の生徒も必死で取り組める課題を提示してあげることだ。その

意味でもこの結果は意義深い。4）について。2）と重なるところも多いが、保育者を目指す生徒にとって、自分のレベルに合った魅力的な教材で、短大の学びを始めることができたことに意義を感じてくれた結果であろう。5）について。はじめにでも少し述べたが、多くの中高生は保育者を目指すにあたって、ピアノが必要だということを認識しているが、個人的にピアノ教室に通うハードルが高い生徒も多い。そのような中で、養成校の講座に通いながら学び始め、漠然とした不安が軽減した生徒が 9 割以上いたことは意義深い。6）について。本講座は月に一回の開講であり、その間の練習は生徒個人に任されている。言うまでもないが、ピアノはレッスンを受けるだけで上達するものではない。レッスンで学んだことを復習し、応用し、繰り返し取り組むことで、少しずつ力をつけることができる。そのような中で、次のピアノ講座に向けて、準備して臨むことができたの項目で、そう思う 53.3%、ややそう思う 46.7% と全員の生徒が何らかの準備をして次の講座に臨めたことは非常に価値がある。7）について。バスティンという魅力的な教材、譜読みテストを通じた音楽の基礎学習、ピアノ演奏の極意を用いたピアノ演奏の基礎の徹底、練習習慣の定着を通じて、9 割以上の生徒が保育の学びを深めることができたと回答したことは大変意義深い。8）について。本学の講座の特徴の 4）で述べたので省略する。詳しくはそちらを参照されたい。今回のピアノ講座のアンケートでも、譜読みテストを通じて音楽の基本的な事項を理解することができたの項目で、そう思う 57.1%、ややそう思う 42.9% という結果が出たのは非常に意義深い。9）について。合格できなかった生徒には、必ずアクティブ・ラーニング型の授業で学んだ学生スタッフに個別に解説させた。譜読みテストを合格まで繰り返し受験することで、基本的なことを入学前に身に付けることができた (再試該当者のみ回答) の項目で、そう思う 80%、ややそう思う 20% という結果が出たことは大変価値がある。10）について。筆者は保育者養成校のピアノは、たった一人で学ぶものでないと考えている。進度の異なる仲間同士が助け合い、刺激を与え合うことが重要である。学生スタッフの功績も非常に大きい。11）につ

いて。本学の講座の特徴 6）で述べたので省略する。詳しくはそちらを参照されたい。本学独自の点であり、高校生も学生スタッフからの指導を価値あるものと感じてくれた結果ではないだろうか。12）について。この結果はピアノ講座を受けて、本学に入学した 15 名の受講者のアンケート結果である。初心者、3 年未満の学生が約 7 割を占めているが、約 3 割を占める経験者、上級者も講座に通って着実に力をつけられたことは大変意義深い。

図7　幼児教育を目指す中学生・高校生対象 無料ピアノ講座データ

ピアノ経験	バスティン教科書	7/19	8/30	9/27	10/18	11/22	12/13	1/17	2/27	3/7	譜読みテスト(20点満点。15点以上合格)	備考
なし	L1		冬	ぞうさん	とりがなく	オランダのおどり					17	コツコツと真面目な学生
なし	L1	ロンドン橋	サンタのそり	いたずらねずみ							16	
なし	L1			ぞうさん	おやまあ	だいすきなサッカー	リズムにのって				20	
高1-現在	L1		サンタのそり									ややおとなしい、コツコツと取り組んでいる。
小1-小6	L1		冬	あたらしい調	とりがなく	オランダのおどり					15	コツコツと真面目な学生、進んでいる。
5歳-小4	L1		いたずらねずみ	朝の集合ラッパ		アロエッテ	聖者が街にやってくる	カーニバル(L2)	ラベンダーブルー	マクドナルドおじさんのロック	18	やや性格は変わっているところもある、ピアノは弾ける
なし	L1		おねぼうジョン			サンタのそり	サンタのそり				13→	清潔感ある。頭しっかりしている、初心者でも頑張っている。
なし	L1	サンタのそり	いたずらねずみ	おさるといたち	ぞうさんのワルツ	いざ海へ	とりがなく		おばけ		15	愛嬌がある。初心者でも頑張っている。笑顔◎
なし	L1		トムキャット									?
高3-現在	L1		おねぼうジョン		サンタのそり	おさるといたち	ペルシャの市場		とりがなく		18	真面目。音楽に取り組む姿勢や声良い。
なし	L1	うしがえる	とりがなく	うきぐも	朝のプレリュード		和音でとんで				18	やや大人しい、非常にまじめで、かなりコツコツと進めている。
小1-現在	L2		メキシコ民謡	カーニバル							12→	やや学力心配。
なし	L1			いたずらねずみ	おさるといたち		おさるといたち	朝の集合ラッパ			5→11.5→16	やや学力心配、人は明るい。
なし	L1			おねぼうジョン								ややのんびり。
なし	L1			うしがえる	おまつり						18	非常に明るい。
なし	L1			うしがえる	おまつり						18	しっかりしている。コツコツと進めている。
なし	L1				サンタのそり	ぞうさん		朝の集合ラッパ		山のぼり	14→15	3年かけて級えて伸ばす。素直さあるが、やや学力心配。
小5-小6	L1				サンタのそり	うしがえる	おさるといたち	ようきなアザラシ	朝の集合ラッパ	メロディーと伴奏	14→19	3年かけて級えて伸ばす。素直さあるが、やや学力心配。
なし	L1					おねぼうジョン	トムキャット				18	
なし	L1					ほえるライオン			ローレライ			コツコツとやらせ、力をつけたい。
小4-小6	L1					ようきなアザラシ	朝の集合ラッパ				19	ダンス得意、明るさ、人間性は良さそう。学習を気を抜かせない。
なし	L1						ほえるライオン	トムキャット			14.5→	少し暗いか。やや不器用。
なし	L1							あたらしいロンドン橋				やや不器用。笑顔は良い。人前で堂々とできるようにしていきたい。
なし	L1							トムキャット				2年
4歳-14歳	L1							手をたたきましょう				2年
小3-中1	L2								手をたたきましょう	ルーと遊ぼう		ピアノ経験者。明るく、コツコツ取り組んでいる。
年長-中3	L2								ロッキーにのぼって	おぼろ月夜		ピアノ経験者。明るく、コツコツ取り組んでいる。
										※全学生　最新の合格曲のみ記載。		

幼児教育を目指す中学生・高校生対象 無料ピアノ講座データ（図 7）は、生徒のピアノ経験、選択したバスティンの教科書、各回の学習状況（最新の合格曲のみ掲載）、指導時に気付いた特徴などをまとめたものである。本学では引き続き 2018 年度も全 12 回のピアノ講座の開講を決め、毎月実施している。これからも地域の幼児教育全体のレベルアップ、養成校の音楽・ピアノ発展のため尽力していきたい。

Ⅲ 保育者向けピアノ公開講座の実際

1 概要

・開講日程（全 8 回）

8/30、9/27、10/18、11/22、12/13、1/17、2/27、3/24

・開講日時

16:40 ～ 17:30

・設備

本学音楽室 グランドピアノ 1 台、電子ピアノ 30 台

・指導スタッフ

本学教員 2 名

2 指導の実際

初年度は 8 月から全 8 回開講した。全日程出席を推奨としながらも、先生方も会議や行事準備などもあるため、都合の良い日に出席することとした。基本的に講座の内容は、普段園で指導している季節の曲やリトミック、これから指導予定の曲などである。講座では教員 2 名でなるべく素早く回り、二度は指導が受けられるよう留意した。

1） 初回の講座で、現役保育者のためのピアノレベルアップ講座 進度調査・レッスン記録（図 8）を記入してもらう。

2) これまでのピアノの経験や、現在園で取り組んでいる曲、課題に感じていること、講座を通じて取り組みたいことなどを話した上で、レッスン内容を決める。

3) レッスン曲目は、普段先生方が園で指導している季節の曲やリトミック、これから指導予定の曲などが多かった。教員２名でなるべく素早く回り、二度は指導が受けられるよう留意した。

4) 最後に現役保育者のためのピアノレベルアップ講座 進度カード（図 9）に学んだ曲を記入してもらい、こちらも現役保育者のためのピアノレベルアップ講座 進度調査・レッスン記録（図 8）に控えを取った。

1）について。初回の講座で、現役保育者のためのピアノレベルアップ講座進度調査・レッスン記録（図 8）を記入してもらった。音楽の経験やこの講座を通じて学びたいことなど、先生方の要望を把握するために重要な資料となる。この記録票を教員の控えとした。毎回講座でレッスンした曲を記入していくので、普段園でどのような曲に取り組まれているのかを知ることができ、養成校にとって大変貴重な資料となっている。2）について。図 8 の記録を基に、これまでのピアノの経験や、現在園で取り組んでいる曲、課題に感じていること、講座を通じて取り組みたいことなどの相談をし、講座で学ぶ内容、方向性を決めていった。3）について。レッスン曲目は、普段先生方が園で指導している季節の曲やリトミック、これから指導予定の曲などが多かった。中には自由曲を学んでいる先生もいた。教員２名でなるべく素早く回り、二度は指導が受けられるよう留意した。4）について。先生方のレッスンの記録を正確に残していくということは、養成校の学生の教育に生かしていくためにも非常に重要である。

図８　現役保育者のためのピアノレベルアップ講座 進度調査・レッスン記録

現役保育者のためのピアノレベルアップ講座　進度調査・レッスン記録

園　　氏名　　（ふりがなも記入して下さい）

ピアノに関するアンケート

1. 自宅に鍵盤楽器はありますか。
   【　ピアノ　・　エレクトーン　・　キーボード　・　ない　】

2. 園の楽器は何を使用していますか？（例　ピアノ、オルガンなど）

3. 現在ピアノに対して持っているイメージを書いて下さい。

4. ピアノ講座への抱負を書いて下さい。

日付	レッスン曲	再度挑戦曲
8／30		
9／27		
10／18		
11／22		
12／13		
1／17		
2／27		
3／7		

メモ

図９　現役保育者のためのピアノレベルアップ講座 進度カード

現役保育者のためのピアノレベルアップ講座
進度カード

園　　名前　　（ふりがなも記入して下さい）

☆毎回持参してください。
☆受講する曲目を書き込んでください。
☆コツコツと練習を重ね、着実に力をつけていきましょう♪

♪ピアノ講座レッスンの記録　（保育者 16:40～17:30）

日付	受講曲目	教員サイン
8/30		
9/27		
10/18		
11/22		
12/13		
1/17		
2/27		
3/7		

3　アンケート結果から見えてくるもの、考察

対象：ピアノ講座の受講を終えた現役保育者 9 名

1)　ピアノ講座の時間は充実して過ごせた

1. そう思う 100%　　2. ややそう思う 0%

3. あまりそう思わない 0%　　4. そう思わない 0%

2)　保育者として働き始めてからも、ピアノで聞きたいことがある

1. そう思う 55.6%　　2. ややそう思う 44.4%

3. あまりそう思わない 0%　　4. そう思わない 0%

3)　保育者として働き始めてからも、ピアノ講座を通じて学びを深められて良かった

1. そう思う 88.9%　　2. ややそう思う 11.1%

3. あまりそう思わない 0%　　4. そう思わない 0%

4)　ピアノ講座の受ける前より成長できたように思う

1. そう思う 22.2%　　2. ややそう思う 66.7%

3. あまりそう思わない 11.1%　　4. そう思わない 0%

5)　保育現場に出てからも定期的に学べる機会があることは重要である

1. そう思う 88.9%　　2. ややそう思う 11.1%

3. あまりそう思わない 0%　　4. そう思わない 0%

6)　もしまたピアノ講座が開講されれば受講したい

1. そう思う 55.6%　　2. ややそう思う 44.4%

3. あまりそう思わない 0%　　4. そう思わない 0%

ピアノ講座の感想などをお書きください。

・やさしく、ていねいにおしえてもらえて良かったです。「リトミック」も教えてもらえて、すぐに現場でおろせたことが良かったです。リトミックの講座が定期的に開かれたら受講したいです。

・ピアノについて働いてから学べる機会がなかったので勉強になった。

・今まで自己流に弾いてしまいがちでしたが、ご指導頂き指づかいや気持ちのこめ方など教えて頂き、ありがとうございました。
・自分が忙しい時に出られないことがあるのでもう少し回数が少ないと予定がくみやすいかと思う。ピアノだけに限らず教えていただきたかった。
・基礎的な事が分からなかったため、教えて頂けて良かった。定期的に行う事で、その時にやっている曲の相談ができたためよかった。
・なかなか聞くことのできない基礎の部分から教えていただき、大変ありがたかったです。普段自分では意識をすることのない強弱、流れなども歌の内容から少し意識することができました。定期的に学べる機会を開講していただき、本当にありがとうございました。
・姿勢など、基礎から教えていただけたことがとてもありがたかったです。どんな小さな質問にもていねいに答えていただいたので、とても勉強になりました。ありがとうございました。

1）について。先生方が勤務を終えた平日の夕方に開講していたが、仕事の後に講座に出席するというのは体力的にもきついところがある。そのような中で、出席された全員の先生がピアノ講座の時間を充実して過ごせたと感じて下さったのは、非常に意義深い。2)、3）について。筆者は以前にも保育者の先生方を教える機会を持ったことがある。その時も先生方は積極的に質問をされていて、学びたい、何かを得たいという意欲が非常に高いなと感じた。そのような経緯もあり、今回定期的にピアノ講座を開講したのだが、保育者として働き始めてからも、ピアノで聞きたいことがあるの項目で、そう思う 55.6%、ややそう思う 44.4%、保育者として働き始めてからも、ピアノ講座を通じて学びを深められて良かったの項目で、そう思う 88.9%、ややそう思う 11.1% という結果が得られたのは、大変意義深い。4）について。ピアノ講座を受け始めた時に比べて、各先生方の基礎力、表現力、応用力が高まったように感じた。感想の項目でも、ピアノの基礎力や表現について述べている先生が多い。成長を

実感してくれた先生が 9 割近かったのは非常に意義深い。5)、6）について。はじめにでも述べたが、音楽に関して言えば、教員免許状講習や地域の講座など一回や二回の受講でなく、定期的に学べるということが極めて大切なことである。現場の先生方の (音楽に関する) 疑問点の解決、表現力の探求、技術の向上などは定期的な学びなくして効果は望めない。また養成校にとっても、現場の先生方がどのような教材を使用しているのか、どのような人材育成が求められているのかということを教えて頂くこともでき、学生の教育に生かしていくことができる。そのような中で、保育現場に出てからも定期的に学べる機会があることは重要であるの項目で、そう思う 88.9%、ややそう思う 11.1%、もしまたピアノ講座が開講されれば受講したいの項目で、そう思う 55.6%、ややそう思う 44.4% という結果は大変意義深い。感想の項目では、基礎力、表現に関すること、定期的というキーワードが多く見られる。ピアノにとって大切な基礎をしっかりと固め、表現力を養い、普段取り組んでいる曲に関して定期的に質問でき、着実に力をつけていけるというのは、このピアノ講座の強みではないだろうか。

図 10　現役保育者のためのピアノレベルアップ講座データ

8/30	9/27
おかえりのうた	欠
おかえりのうた	しょうじょうじのたぬきばやし
おかえりのうた	冬
おかえりのうた	さんぽ
欠	おじいちゃんのおとし　きのこ
欠	思い出のアルバム　おじいちゃんおとし
おかえりのうた	こおろぎ
おかえりのうた	きのこ
おかえりのうた	欠
おかえりのうた	ありがとうの花　どんぐりと栗のShall we tango?　指揮
欠	欠

10/18	11/22	12/13
君をのせて	静かなクリスマス	欠
こんこんくしゃん	欠	欠
いたずらねずみ	欠	欠
さんぽ　おやすみリス	赤鼻	サンタがやってくる
夕やけこやけ　おもちゃのチャチャチャ	みんななかよし　ジェットコースター	赤鼻
おもちゃのチャチャチャ	赤鼻	赤鼻
きのこ　どんぐりころころ　大きな栗の木の下	赤鼻　トマト　おつかい　まつぼっくり	赤鼻
どんぐりころころ	ゆげのあさ　にじ	お正月
きのこ	うみ　クリスマスの歌がきこえてくるよ	にじ　お正月
まつぼっくり	365日の	欠
どんぐりころころ	ハッピー　きのこ	クリスマスの歌がきこえてくるよ

1/17	2/27	3/7
ありがとうの花	欠	欠
きみたち今日から友達だ	星ひとつ	欠
欠	ミッキーマウスマーチ	欠
欠	ことりのうた	ことりのうた
豆まき　ゆげのあさ	うれしいひなまつり、一年生おめでとう	あしたは晴れる、一年生おめでとう
ゆきのペンキ屋さん　ゆげのあさ　豆まき	一年生おめでとう	もうすぐようちえん
豆まき　ゆきのこぼうず　雪だるまのチャチャチャ　こんこんくしゃん	ひなまつり、せんせいとおともだち	春が来たんだ、j春ですね春ですよ、みんなともだち
ゆきのペンキ屋さん　やぎさんゆうびん	もうすぐりっぱな一年生、ひまわり	欠
ゆきのペンキ屋さん　豆まき	うれしいひなまつり、大切な宝物	欠
365日の	欠	365日の
ちゅうちゅうねずみ　ゆきのこぼうず　豆まき	雪だるまチャチャチャ、ひなまつり、ありがとうの花	にじ

現役保育者のためのピアノレベルアップ講座データ（図 10）は、先生方のレッスンで取り組んだ曲を 8 回分まとめたものである。参加された先生方のレッスン曲は養成校にとっても大変貴重な資料となる。学生の教育にも是非生かしていきたい。

Ⅳ おわりに

日本の幼児音楽教育の中で音楽は大きな位置を占めている。今や保育者養成校に入学してくるピアノ初心者は 9 割に及び、この数はおそらくこれからも増えていくだろう。しかし、筆者は悲観していない。保育者養成校の教員の熱意と授業の工夫によって、必ず保育現場で通用する音楽的な能力を身に付けることができると考えているからだ。そのためには以下の 3 点に加え、

1）音楽・ピアノのカリキュラム、教材を再考する必要性

2）音楽・ピアノの授業形態を再考する必要性

3）音楽・ピアノの入学前教育を再考する必要

4）音楽・ピアノの高大連携を再考する必要

この 4 点目も非常に大切になってくる。ピアノ初心者の割合が増加の一途をたどっている保育者養成校にとって、高大連携の重要性はもはや語るまでもないだろう。本学では、2017 年の 7 月から毎月中高生に向けの無料ピアノ講座、「保育者を目指したい中学生のためのピアノ学習」「幼児教育系進学を目指す高校生のためのピアノ教室」を開講し、平日の放課後 17 時 40 分から 20 時までみっちりと指導した。指導の実際や幼児教育を目指す中学生・高校生対象 無料ピアノ講座データ、アンケート結果を参照しても分かるように、着実に生徒達は力をつけることができた。

また、現場の保育者の先生方にも毎月講座を開講し、季節の曲やリトミックなどを指導した。保育者の先生方も保育現場に出てからも定期的に学べる機会があることは重要であるの項目でそう思う 88.9%、ややそう思う 11.1% と回答

するなど、働きながらも学び、着実に力をつけることの重要性を感じていた。ピアノにとって大切な基礎をしっかりと固め、表現力を養い、普段取り組んでいる曲に関して定期的に質問でき、着実に力をつけていけるというのは、このピアノ講座の強みではないだろうか。これからも地域に根ざした養成校として、どのような取り組みができるのか模索し続けていきたい。

〈注〉

1) 佐藤 雄紀

「保育者養成校における入学前準備授業とバスティン・ピアノメソードを用いたピアノのレベル別学習に関する一考察」

『信州豊南短期大学紀要』(34)、pp.119-160、2017 年

2016 年度、本学でピアノの経験についてアンケート調査をしたところ、10 年 16%、5 年 14%、3 年 16%、初心者 54% という結果になった。2016 年度も約 7 割はピアノ初心者であったが、2017 年度は約 9 割と急激に初心者の割合が増加した。

2) 西海 聡子、依田 洋子、今川 典子、高田 いちえ

「保育者養成校における器楽(ピアノ)教育(2) －初心者における弾き歌いの難しさとその改善の試み－」

『宝仙学園短期大学紀要』(33)、pp.37-50、2008 年

伊藤 仁美、葛西 健治、多賀 洋子、今川 典子、嶋田 陽子

「保育者養成における音楽授業科目に関する一考察(1) －本学の初年次音楽教育カリキュラムの比較を通して－」

『こども教育宝仙大学紀要』(6)、pp.1-10、2015 年

吉村 淳子、芝崎 美和

「保育者養成におけるピアノ指導について －学生の自己効力感に着目して－」『新見公立大学紀要』(36)、pp.59-66、2015 年

西海ら(2008)によると、昭和 62 年度入学生では、初級者(経験なしとバイ

エル程度）は 18% であったが、平成 18 年度入学生では、初級者が 52%、伊藤ら（2015）が引き続き行った、平成 26 年度入学生の初級者は 72.2% と著しく増加したと述べている。吉村（2015）の調査でも 2014 年度入学生ではピアノ未経験者は 30%、初心者（バイエル少し）が 30% となっており、60% の学生はほとんどピアノが弾けない状態で入学している現状であると報告している。

[3] 文部科学省

「高等学校と大学との接続における一人一人の能力を伸ばすための連携（高大連携）の在り方について」

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/020-17/houkoku/06040408/001/004.htm（2018 年 9 月 20 日現在）

[4] 大阪千代田短期大学

「無料ピアノ教室」

http://www.chiyoda.ac.jp/piano_school/（2018 年 9 月 20 日現在）

[5] 中京学院大学

「無料ピアノレッスン開講します」

https://www.chukyogakuin-u.ac.jp/topics/30_58323eec1c5b9/index.html（2018 年 9 月 20 日現在）

[6] 奈良佐保短期大学

「♪保育者をめざす方に ピアノ無料講習会♪」

http://www.narasaho-c.ac.jp/news/mso9ur000001xo85.html（2018 年 9 月 20 日現在）

[7] 佐藤雄紀

「中学校・高等学校（音楽）の教員養成校におけるアクティブ・ラーニングを用いた相互ピアノレッスンに関する一考察」

『アクティブラーニングを導入した授業研究』、2017 年

この例は教員養成校（中学校・高等学校）であるが、筆者は学生全員にピアノレッスンの指導を経験させた。学生達はピアノの指導を経験することにより、

様々なことを感じてくれた（以下は学生のアンケートから抜粋）。これらを読むと指導経験の学びは計り知れない程に大きいことが分かる。

・指導していると、臨機応変に対応しながら指導することが大切であると実感しました。また、１人１人やクラスに合った指導をするためにも策をいくつも作る、出すということが大切であると実感しました。今後に生かしていきます。

・皆の授業は色々な曲を練習していないと伝えることができないので、私も沢山の経験が必要だということが分かった。教師になる上で１回１回の授業時間を無駄にせず、緊張感を持ってやっていかなければならないと考えている。曲の背景も勉強するべきだと思った。

・教えるのは難しいと改めて感じました。指導の仕方を学びたいです。

・できない原因なども自分が演奏する時も考えられるようにする。

・同じ１つのレッスンを見て聞いていても、それぞれで感じられることが違うのだということに気づきました。他の人が指摘していたことによって新しい学びや感じられることも多くあり、良い学習ができました。指導する時に楽譜ばかりでなく本人の弾き方などの様子を把握するということも必要だと考えました。自分ができないことでも指導はしっかりすべきだと感じました。

引用図

[1] 佐藤 雄紀
「保育者養成校における入学前教育（音楽）の可能性」
『信州豊南短期大学紀要』(35)、pp.88-115、2018 年

参考文献

佐藤 雄紀
「保育者養成校におけるアクティブ・ラーニングを用いたピアノレッスン及び幼児に対する音楽表現指導法に関する一考察」『信州豊南短期大学紀要』(35)、pp.224-250、2018 年

佐藤 雄紀
「保育者養成校における入学前教育（音楽）の可能性」
『信州豊南短期大学紀要』(35)、pp.88-115、2018 年

奥 千恵子
「保育者養成と演奏技法（Ⅱ）－ピアノ初心者対象の入学前教育の取り組み－」『四天王寺大学紀要』(55)、pp.325-341、2012 年

中山 由里
「ピアノ教育の導入期における授業についての一考察－ピアノ学習初心者への講座を通して－」『九州女子大学紀要』44(3)、pp.67-81、2008 年

坂本 暁美
「協同学習を取り入れたピアノ実技指導の学習効果」『四天王寺大学紀要』(56)、pp.153-164、2013 年

教育課程研究会
『「アクティブ・ラーニング」を考える』東洋館出版社、2016 年

中井 俊樹 編著
『アクティブラーニング』玉川大学出版部、2015 年

ジェームス・バスティン
『バスティン ピアノベーシックス ピアノ (ピアノのおけいこ) レベル 1』
『バスティン ピアノベーシックス ピアノ (ピアノのおけいこ) レベル 2』
『バスティン ピアノベーシックス ピアノ (ピアノのおけいこ) レベル 3』
東音企画、2009 年
文部科学省 幼稚園教育要領 第 2 章 ねらい及び内容
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/youryou/you/nerai.htm (2018 年 7 月 25 日現在)
厚生労働省 保育所保育指針
http://www.mhlw.go.jp/bunya/kodomo/hoiku04/pdf/hoiku04a.pdf
(2018 年 7 月 25 日現在)